

## はくろの散歩 3rd～明日に向かって～ VOL1

## 【ようこそ！平塚中等へ！～平成最後の第11回入学式挙行～】

4月に入り、暖かな日差しを受けて本校の桜も満開となりました。4月8日(月)の入学式まで桜の花が残っているか心配でしたが、午前中の雨にも関わらず、大きな花びらをいっぱい広げながら新入生を迎えてくれました。そのような中、平成最後となる第11回入学式を挙行することができ、大変うれしく思っています。入学式では、緊張した面持ちの1年生が担任の引率により体育館に入場。入場にあたっては、毎年、吹奏楽部の演奏により、新入生や保護者を暖かくお迎えする雰囲気を作ってもらっています。今年も、すばらしい演奏、ありがとう。

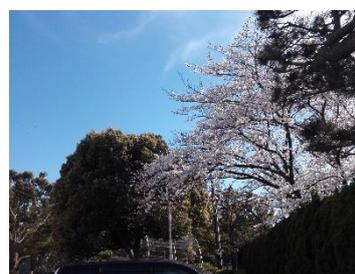
式では、担任から一人ひとり呼名され、新入生全員からはっきりとした「はい」という返事が聞こえてきました。「今年もしっかりした生徒が入学してくれた」と誇らしく思います。

私の式辞では、3つのことを新入生に伝えました。「自分の夢を膨らませて欲しい」「目標を定めて欲しい」「自分や相手を尊重して欲しい」、そして保護者には「ご家庭で生活のルールを決めて欲しい」「学校のルールを理解して欲しい」「一緒に生徒を指導・支援して欲しい」とお願いをしました。

いよいよ本日から6年間の中等教育学校生活が始まります。「楽しいこと、苦しいこと、嬉しいこと、悲しいこと。山あり、谷あり、登ったり、くだったり」と様々な経験をとおして大きく成長して欲しい。そして自分の個性を磨きながら自分らしい生き方を創造する基礎を作りたいと思います。

## 【スマホ・ケータイとの付き合い方～スチューデントメンターによる寸劇で保護者に啓発～】

スマートホン・携帯電話は、一人1台が当たり前の時代になりつつあります。非常に便利で、生活になくてはならない必需品！？になりつつあるスマートホン・携帯電話ですが、その使い方については、モラル・マナー、そしてルールが必要です。そこで、入学式の終了後に、前期生の支援をしているスチューデントメンターの生徒達が新入生保護者を対象に「スマホ・ケータイとの付き合い方」というテーマで、自分たちで考えた寸言劇を通して、まずは保護者に向けて啓発活動を行いました。「中学生あるある」では、「LINEやゲームに夢中になり勉強は二の次になってしまうことが多いそうです」という切り口で、家庭でみられる会話ややり取りを寸劇で行いました。会場からは、笑い声と共に大きく頷く保護者も見受けられました。今後もスチューデントメンターの視点で、様々な機会を利用しながら発信して欲しいと思います。



平塚中等教育学校  
スマホ・ケータイとの付き合い方



スマホ・ケータイのトラブルに巻き込まれないで、楽しい中学生生活が送れるようにと願いを込めて、この冊子をスチューデントメンター全員で相談して作成しました。  
各家庭でスマホ・ケータイの使い方についてのルールを決める時に使用できるように、1年生にも分かるようにわかり易くしました。

「スマホ・ケータイとの付き合い方」冊子より